

# 看護

---

## 目標

利用者様の疾患と既往を理解し苦痛や不安が最小限となるよう予防看護に努める

---

1. 他職種スタッフと情報共有し連携を図り、利用者様の生活をサポートします
2. チーム間での情報共有と分析を行い連携を大切にします
3. フィジカルアセスメントを継続し異常の早期発見と悪化の防止に努めます
4. 内服薬に関するインシデントの発生を予防します
5. 感染症の予防と発生時の拡大を防止します

## 年間計画

1. 会議・委員会では根拠をもった説明、発言を行う
2. 担当研修会では利用者様の生活の場で活かせる内容を企画、実施する
3. 情報共有の意識を持ち誰が見ても分かる内容でノートやケースに必要な記録の記載、入力を行い、内容の確認も行う
4. 毎日のミーティングと毎月のナース会議を行う
5. 情報のみでは無くフィジカルアセスメントを行い総合的な判断を持ち、対応する
6. 定期薬、臨時薬の整理時は薬事情報を見ながらのダブルチェックを行い、特に院内処方薬整理時は意識を高く持ちダブルチェックを徹底していく
7. 職員に内服薬後の確認事項として(名前、日付、食前・後)等が励行されているか確認、声掛けし、インシデント発生時は原因分析する。また、利用者様各々に適した薬の飲ませ方をアセスメントし介護士への指導も行う
8. 感染症の予防の為の手洗い、グローブ着用、換気という基本を徹底するよう普段から注意喚起をする。感染症発生時には専門職として説明や指導が出来る様に各々が普段から感染症への意識を持ち自己研鑽に努める